

一般財団法人日本国際政治学会 2024年度研究大会 部会・共通論題プログラム

※以下のプログラムは暫定版（7月末時点）です。

第1日 11月15日（金）13:00～15:30

午後の部会（13:00～15:30）

部会1 「『9条＝安保体制』の再検討と東アジア」

司会 井上 正也（慶應義塾大学）

報告 濱砂 孝弘（早稲田大学）

「九条＝安保体制」への道——集团的自衛権の政治外交史 1945-1960年」

池宮城 陽子（日本学術振興会）

「9条＝安保体制」の展開と沖縄、1952-1972年」

加藤 博章（関西学院大学）

「9条＝安保体制と自衛隊海外派遣——最小限度とは何だったのか」

討論 松田 康博（東京大学）

池田 慎太郎（関西大学）

部会2 「アメリカ政治・外交への接近法」

司会 伊藤 裕子（亜細亜大学）（討論を兼ねる）

報告 信田 智人（国際大学）

「日米両国における日米関係研究」

佐藤 真千子（静岡県立大学）

「宗教とアメリカ外交政策——研究動向と政策形成の文脈から」

池上 大祐（琉球大学）

「アメリカ太平洋島嶼現代史の現状と課題——グアムを中心として」

討論 遠藤 泰生（関西国際大学）

部会3 「ノーベル平和賞をめぐる国際政治」

司会 田中 浩一郎（慶應義塾大学）

報告 吉武 信彦（高崎経済大学）

「ノーベル平和賞と日本歴代日本人候補をめぐる国際政治、1901-1974年」

竹中 千春（立教大学）

「南アジアとノーベル平和賞の政治的ダイナミクス——ポストコロニアル、グローバルサウス、ジェンダーの視角から」

榎本 珠良（明治学院大学）

「『人道的軍縮』キャンペーンとノーベル平和賞」

討論 戸田 真紀子（京都女子大学）

佐藤 史郎（東京農業大学）

部会4 「国際制度と国内秩序の連関」

司会 石黒 馨（神戸大学）

報告 浜中 慎太郎（アジア経済研究所）

「国内・国際制度の連関：法伝統の視点から——ISDS、MRA、GIsは英米法的か？」

- 吉本 郁 (東京大学)
「民主化、不平等と援助」
市原 麻衣子 (一橋大学)
「民主主義国の国際連携——安全保障と価値の連関とその影響」
討論 竹中 治堅 (政策研究大学院大学)
神江 沙蘭 (関西大学)

分科会セッション A (15:45~17:45) 別掲

第2日 11月16日(土) 09:30~12:00 16:00~18:50 (共通論題)

午前の部会 (09:30~12:00)

部会5 「規範と紛争の複雑系」

- 司会 柄谷 利恵子 (関西大学)
報告 関山 健 (京都大学)
「気候変動を遠因とする紛争と社会規範」
中西 嘉宏 (京都大学)
「ヒエラルキーを転げ落ちる——国際規範とミャンマーにおける『体制移行』の関係について」
大内 勇也 (神戸大学)
「シリア内戦と反不処罰規範の多層的変容」
討論 土佐 弘之 (ノートルダム清心女子大学)
阿部 悠貴 (熊本大学)

部会6 「歴史問題とは何か——国際政治学・比較政治学・歴史学からの横断的検証」

- 司会 大矢根 聡 (同志社大学) (討論を兼ねる)
報告 浅野 豊美 (早稲田大学)
「国際和解学の挑戦——国民国家の変容可能性を内包する国際関係学をめざして」
武井 彩佳 (学習院女子大学)
「和解の規範を創り出す——法、政治と文化」
熊谷 奈緒子 (青山学院大学)
「歴史和解における『女性の尊厳』——構成主義的分析」
討論 豊田 哲也 (国際教養大学)

部会7 「再び国家間戦争の時代へ？」

- 司会 宮岡 勲 (慶応義塾大学)
報告 千々和 泰明 (防衛研究所)
「国家間戦争終結研究からの示唆——ロシア・ウクライナ戦争と『台湾有事』を念頭に」
佐桑 健太郎 (青山学院大学)
「領土問題の平和的解決を阻むもの」
石田 淳 (東京大学)
「安心供与とは何か——秩序論の交渉論的基盤」
討論 板山 真弓 (国士舘大学)
片桐 梓 (大阪大学)

部会 8 「『冷戦』の語り方」

司会 鳥潟 優子 (同志社女子大学) (討論を兼ねる)

報告 福田 円 (法政大学)

「中国・台湾からみる『冷戦』」

山本 健 (西南学院大学)

「冷戦史研究の中の『ヨーロッパ冷戦史』」

神田 豊隆 (新潟大学)

「冷戦と社会民主主義——日本社会党の外交論を焦点として」

討論 白鳥 潤一郎 (放送大学)

部会 9 日韓合同部会 “Examining the Transformation of the International Order and Political Landscape through Diverse Approaches and Perspectives” (英語で実施)

Chair:

ENDO Mitsugi (JAIR President, The University of Tokyo)

Speakers:

KAGOTANI Koji (Chuo University), KO Jiyoung (Korea University)*, WU Wen-Chin (Academia Sinica)*
*No-presenting Co-author

“When Do Diplomatic Protests Succeed? Political Information and No Rally Effect”

LEE Geunwook (Sogang University)

“ROK’ s Military Posture: Seoul’ s Strategy, Buildup, and Implications for Security in East Asia”

JEONG Sangmi (Korean National Diplomatic Academy)

“Security Threats and South Koreans’ Perception of Japan: Assessing Public Opinion on ROK-Japan Relations and the ROK-U.S.-Japan Security Cooperation (2018~2021)”

Discussant:

LIM Jaehwan (Aoyama Gakuin University)

KIM Sunil (Kyung Hee University)

CHO Youngho (Sogang University)

分科会セッション B (12:45~14:00) 別掲

分科会セッション C (14:15~15:30) 別掲

総会 (15:30~16:00)

【共通論題】「国際政治学と政策形成——EBPMの可能性と限界」 (16:00~18:50)

司会 古城 佳子 (青山学院大学)

報告 多湖 淳 (早稲田大学)

「EBPMと国際政治学——安全保障分野」

宇治 梓紗 (京都大学)

「環境政策とEBPM」

飯田 敬輔 (東京大学)

「国際関係理論から見たEBPM」

討論 山田 敦 (一橋大学)

遠藤 乾 (東京大学)

懇親会 (19:05~20:35)

第3日 11月17日(日) 14:00~16:30

分科会セッションD (09:30~11:00) 別掲

分科会セッションE (11:15~12:55) 別掲

部会10 「グローバルな食料安全保障の課題」

司会 毛利 勝彦(国際基督教大学)

報告 高橋 敏哉(松蔭大学)

「経済安全保障と食料安全保障——その概念と体系」

市川 顕(東洋大学)

「ウクライナ戦争と食糧安全保障——ポーランドの視点から」

鍋島 孝子(北海道大学)

「アフリカにおける食糧安全保障——国際政治から顧みられなかった農民の人権」

討論 上村 雄彦(横浜市立大学)

渡邊 智明(福岡工業大学)

部会11 ガザをめぐる国際政治【市民講座をかねる】

司会 池田 明史(東洋英和女学院大学)

報告 江崎 智絵(防衛大学校)

「ガザの統治と中東和平——ハマースとの関係の観点から」

三牧 聖子(同志社大学)

「ガザ危機とアメリカ国際主義の行方」

前川 一郎(立命館大学)

「帝国主義忘却の現代史——ガザをめぐる国際政治があらわすもの」

討論 高原 明生(東京女子大学)

辻田 俊哉(大阪大学)

部会12 「非承認国家問題再論——パレスチナ、ドンバス、東ティモール」

司会 富樫 耕介(同志社大学)

報告 錦田 愛子(慶應義塾大学)

「実態なき承認国家としてのパレスチナ——政治戦略としての国家承認」

松里 公孝(東京大学)

「主権国家の物心崇拝と分離紛争——旧社会主義圏の経験」

滝澤 美佐子(桜美林大学)

「東ティモール国家独立における国際法・国際機構の関与とその課題」

討論 遠藤 貢(東京大学)

立花 優(北海道大学)

部会13 「不正義と補償・賠償の国際政治」

司会 藤重 博美(青山学院大学)

報告 飯嶋 佑美(日本国際問題研究所)

「気候変動の悪影響に伴う損失と損害を巡る国際政治」

川喜田 敦子(東京大学)

「第二次世界大戦後のドイツの戦争賠償と被害者補償」

鶴田 綾(中京大学)

「ヨーロッパの植民地責任とアフリカ——ベルギー・コンゴ関係を中心に」

討論 網谷 龍介 (津田塾大学)
望月 康恵 (関西学院大学)

部会 14 「対外関係の変動と日本のインテリジェンス体制」

司会 岩間 陽子 (政策研究大学院大学)

報告 宮杉 浩泰 (明治大学)

「戦前期日本の情報活動と対外政策の相互作用」

小島 吉之 (帝塚山大学)

「戦後日本のインテリジェンスと国家理性」

小林 良樹 (明治大学)

「2000年代以降の日本のインテリジェンス機構の変容とその要因」

討論 森口 由香 (京都大学)

関 誠 (帝塚山大学)

部会 15 「見田宗介／真木悠介と国際政治学——日本発の〈学知〉からのグローバルな国際関係研究へ」

司会 安高 啓朗 (立命館大学)

報告 酒井 啓子 (千葉大学)

「地域研究/グローバル関係学と見田宗介/真木悠介」

前田 幸男 (創価大学)

「大地から逆照射された国際政治学——通奏低音としての見田宗介／真木悠介」

芝崎 厚士 (駒澤大学)

「自我・時空・世界 グローバル関係研究と見田宗介/真木悠介」

討論 向山 直佑 (東京大学)

浅香 幸枝 (南山大学)